



# 工業高校=男子校？

という従来の固定概念を超えて、自分らしい目標を持ち前向きに学校生活を楽しんでいる都立多摩工業高等学校のお二人を訪ねました

十文字香織さん  
(電気科3年生)



中学生の頃は、漫画やイラストを描くのが好きだったが、ある時からパソコンに熱中する。興味が膨らみもっと勉強したいと思うようになり工業高校を選択。

神村早苗さん  
(環境化学科2年生)



テレビで環境や大気汚染、酸性雨などを見て興味を持ち勉強したいと思う。将来は環境関係の仕事に就きたいと考え、環境化学科のある工業高校を選択。

工業高校に入ってよかったと思うことは？

十文字 レポートなど提出物を期日までに済ませるのが、当たり前になったことと、実習によって色々な機器や器具を扱えるようになったことです。

多摩工業高校は、設備が整っているし、パソコンも充実しています。神村 普通の授業と分かれている実験、実習は勉強になります。設定された課題について研究することも面白いです。

入学前の工業高校のイメージと実際との違いはありましたか？

十文字 男子ばかりで、ゴツイかなみたいなイメージを持っていましたが、入ってみたら違っていました。男女、関係なく話もできるし、口げんかもしません。結構楽しいですよ。

男子の明るさや、お菓子を喜んで食べるのを見て、意外でした。

神村 私の場合は、姉も工業高校に進んだので、特別違和感もなく、硬いイメージもなかったですね。私だけではなく、この学校に来ている人たちは、家外ハッキリした目的を持って来ている人が多いですよ。



専門に学んでいることについて教えてください。

十文字 電気科です。パソコンが面白いですし、すごく好きになりました。資格試験を積極的にやってくれるので、パソコン検定3級を取りました。

神村 研究が好きで、環境化学を選びました。普通科と違って、専門の時間が多いです。普通科目は基本的な事を勉強しているという感じですね。私も資格試験は受けたいと思っています。



女性が少ないことで、困ったことはありませんでしたか？

十文字 女子トイレが少ないことです。時々「あー、トイレに行きたい。でも、遠いよう」と思いますが、(笑)

プールに入るときも男女一緒です。水着が恥ずかしいと思うこともあるかな。「でも、私のクラスでは2人きりの女子だからもういい。恥ずかしくない」と思い切りました。神村 そうです。困るのはトイレとプールかな。でも水着の上に着るシャツを着ることが許されていますから。その他の体育の授業もすべて男

女一緒です。

工業高校を希望すると言った時、家族の反応は？

十文字 両親は「そう・・・行くの？」という感じでしたが、何故工業高校に行きたいか目的を話したら、あとは背中を押してくれました。両親としては、「男子ばかりの中に入って何かあったら」と心配はあったかもしれませんが、神村 家族は理解してくれました。目的や希望がハッキリしていたので。

勉強以外に積極的に取り組んでいるものはありますか？

十文字 団地に住んでいるので団地の活動のボランティアをしています。弟がいるので子供会のゴミ回収や、バーベキュー大会等にも付き合っています。

神村 中学時代の塾の先生が「空手はいいぞ」と言っていたので女子は私1人ですが空手部に入部しました。自主練も含めて週5日部活で頑張っています。初段を目指



しています。

何かアピールしたいことはありますか？

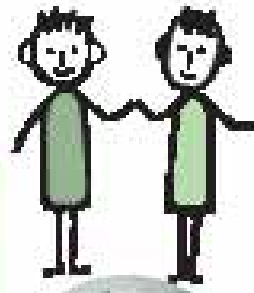
神村 これから高校に入る人には部活オススメです。部活の中で先輩後輩の関係、人と人との関係、コミュニケーションをどうとるか、良い勉強の場になると思っています。

十文字 私たちの高校は、設備も良いですが、先生に恵まれているように思います。「人間的に良い先生」と「この専門には強い先生」という先生がいると思います。インターンシップも充実しています。2、3日会社に入り、実際に学びます。インターンシップ、リストの会社も多いほうだと思います。



将来の夢を聞かせてください。

十文字 今まで育ててくれた両親に感謝しているので、働くことで親の役に立ちたい。CAD関係の仕事も決まりましたし。神村 環境の中でも、大気汚染について研究したいと思っています。そして公害防止管理者になりたいと思っています。



## 工業高校って？

2人の通っているのは高多摩で唯一の工業高校である都立多摩工業高等学校。専門分野は、機械科・電気科・環境化学科の3つの学科に分かれています。全生徒482名のうち女子は23名が在籍。(2004年7月現在)

平成13年度からはインターンシップ(学生が、企業で短期間実習を体験すること。三省堂「ディリー新編辞典」)よりも活発に行い、生徒の職業観を育成することにも力を入れているようです。

在学中に色々な資格を取れる環境もあり、高い就職内定率を誇ります。一言前は工業高校卒業=就職というイメージも強かったと思いますが、最近では進学する生徒も増えています。

## 取材後記

工業高校を選んだ女子生徒ってどんな人たちがいるかという思いにワクワクしながら、学校を訪ねました。

まず、目を見張ったのは、真ん中に三十八メートル伸びた廊下に幅員一つ違っていないことでした。そして、きれいに整備された実験室、校舎内で、すれ違う生徒たちの「こんにちは」「おはようございます」という言葉が、この空間を彩っていました。

こうして驚くべきは、「工業高校」という言葉から来る固定観念が崩れていたことと気づかされた。

神村さん、十文字さんは、夜々と時に話をし、それぞれの専門学科について、将来について話してくれました。これからの社会を担う若い世代に、男女共同歩調で確かな自信を持っていくことが、これからの希望を膨らませるためのキーワードです。